

市立城内診療所の 現状

過去 5 年間の南魚沼市の医療機関の変化

地域	施設名	平成26年3月	平成30年4月
大和	大崎さくらクリニック	○	閉院
	萌気園浦佐診療所	○	○
	ゆきぐに大和病院	○	○
	魚沼基幹病院		○
六日町	五日町病院	○	○
	河内医院	○	○
	斎藤記念病院	○	○
	斎藤脳神経外科	○	閉院
	城内診療所	○	○
	坂内医院	○	閉院
	藤島眼科医院	○	○
	県立六日町病院→南魚沼市民病院	○	○
	やすかわ整形外科	○	○
	萌気園二日町診療所	○	○
	米倉医院	○	○
	六日町こどもクリニック		○
塩沢	青葉すこやかクリニック	○	閉院
	荒川診療所	○	○
	あんベクリニック	○	○
	ゆきあかり診療所	○	○
	静修医院	○	閉院
	風間医院	○	○
	中之島診療所	○	○
	中山医院	○	閉院

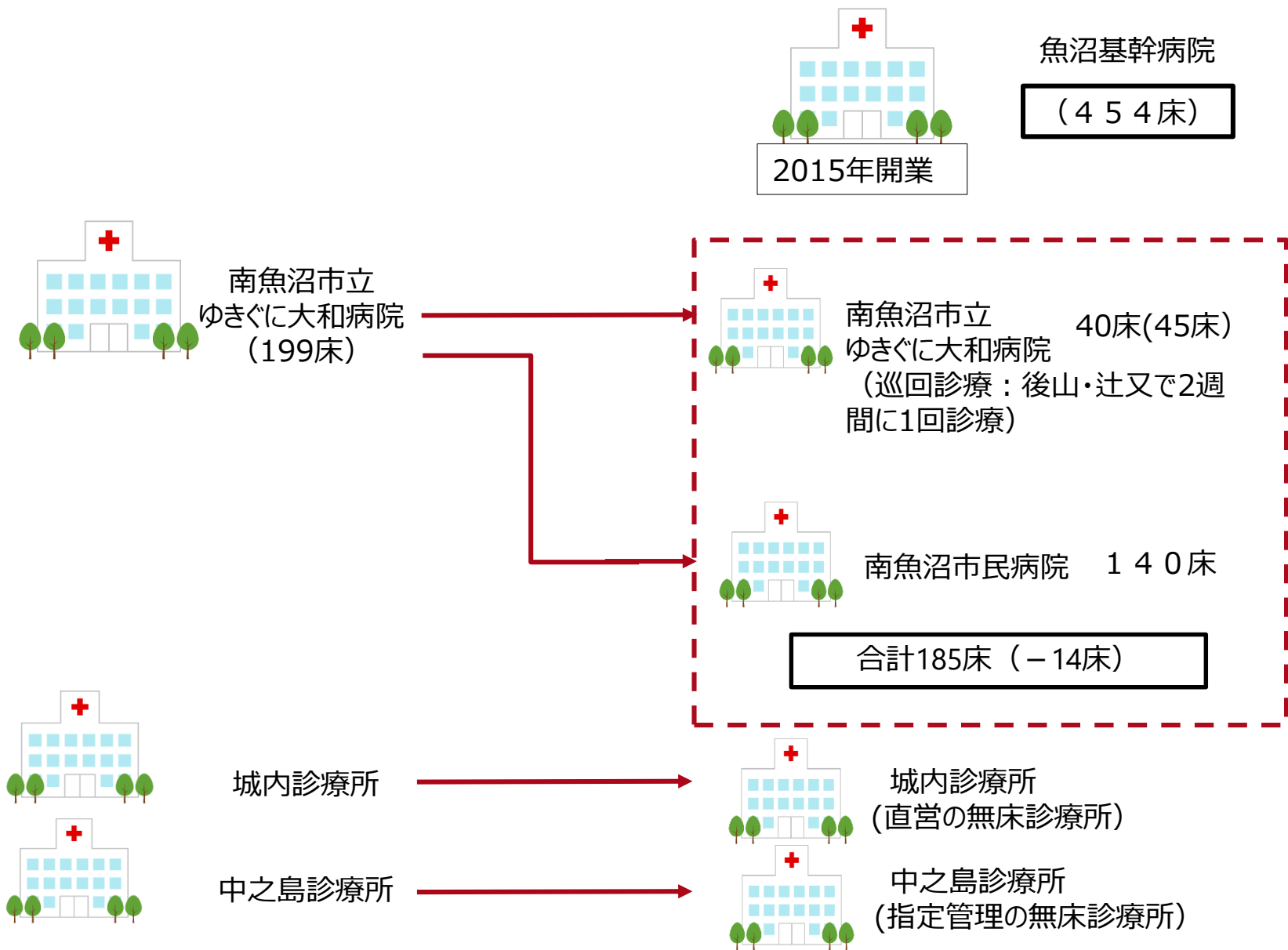
H26年 22医療機関



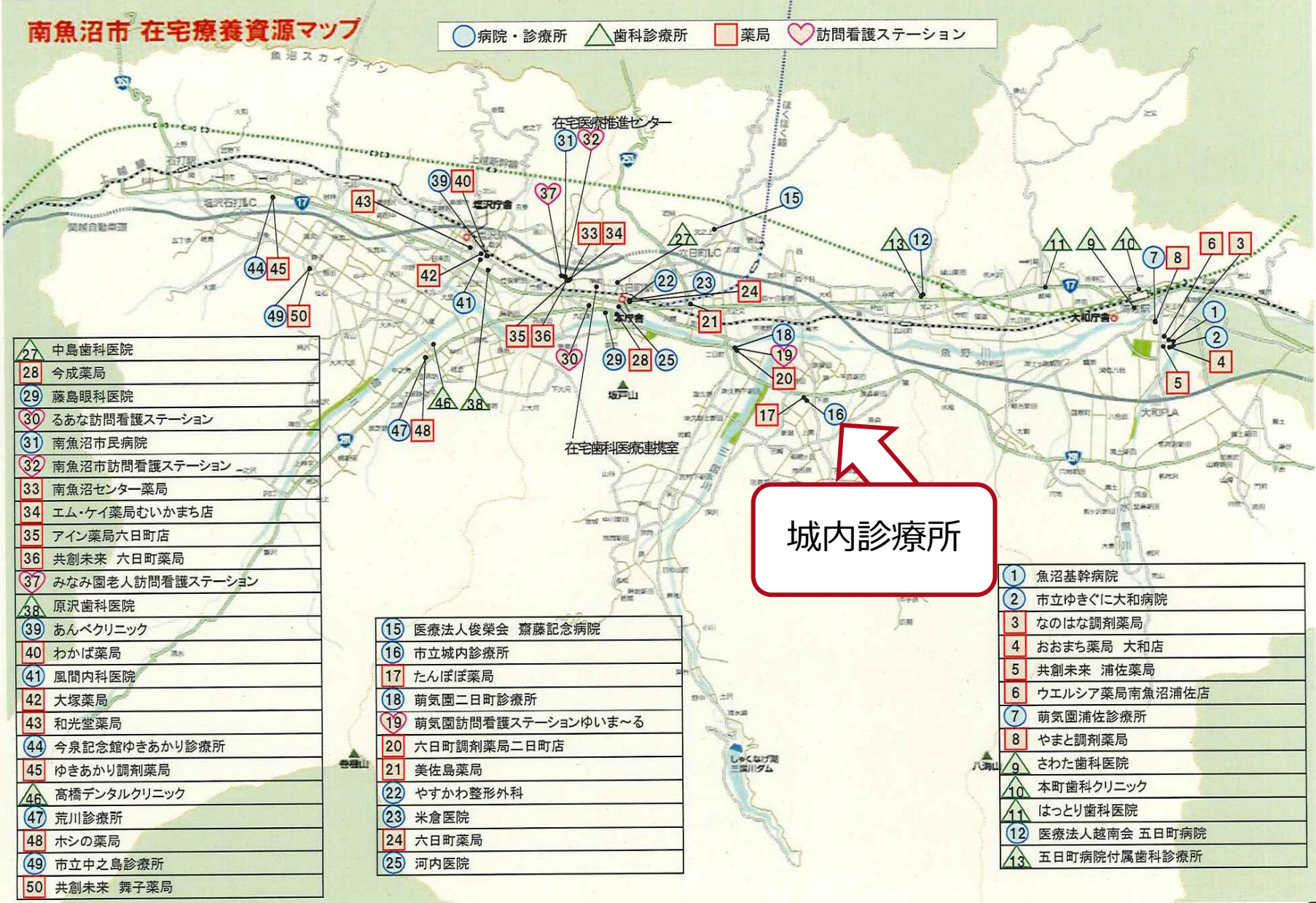
H31年 18医療機関

※6医療機関閉院
2医療機関開院

市立病院群等の再編について



南魚沼市在宅療養資源マップ



城内診療所の歩み（1/2）

別紙

城内診療所（病院）のあゆみ

昭和	20年	8月	頃	城内医務室（城内病院前身）が長森に設置される
	21年	8月	頃	城内村立病院として田村豊院長のもと『城内病院』発足（25床）
	31年			市町村合併により、城内村が六日町となり『町立城内病院』となる
	44年			城内・五十沢地区大雨による洪水に見舞われ、長森地区にあった城内病院の入院患者を南雲彰一郎院長宅に避難させる
	53年	12月		現在地（六日町泉）に病院施設を改築移転 ＊この頃、年間分娩件数が400件を超える
	57年			高橋士朗医師の退職に伴い、ゆきぐに大和総合病院から内科医師を招聘
	63年	4月		電子内視鏡を導入し、胃カメラ・大腸カメラ検査を開始
平成	元年			病院施設内にて城内地区住民健診を開始
	3年			上原地区に医師住宅を新築
	5年			訪問看護を開始
	9年			骨密度測定装置を導入
	11年			介護支援センターが病院に併設し発足
	12年	4月		介護保険制度のスタートにより、8床を介護保険適用療養病床とする（一般病床17床）
	16年	5月		リハビリテーションを開始
		9月		パワーリハビリテーションを開始
		10月		23日 新潟県中越地震発生。病院施設は水道管を破損。翌日、在宅患者宅を訪問し、全員の無事を確認
	11月			六日町と大和町の合併により南魚沼市発足 市制施行により『六日町国民健康保険城内病院』から『南魚沼市立城内病院』に改称
				各種検査機器・リハビリ機器等を整備
	11月			介護保険適用療養病床を4床に減床（一般病床21床）
	17年	1月		CT導入、稼動開始
		4月		院内の土足化開始
		6月		車椅子対応型の特殊浴槽を導入
		12月	～	豪雪となり、駐車場の利用に影響が生じる

城内診療所の歩み（2/2）

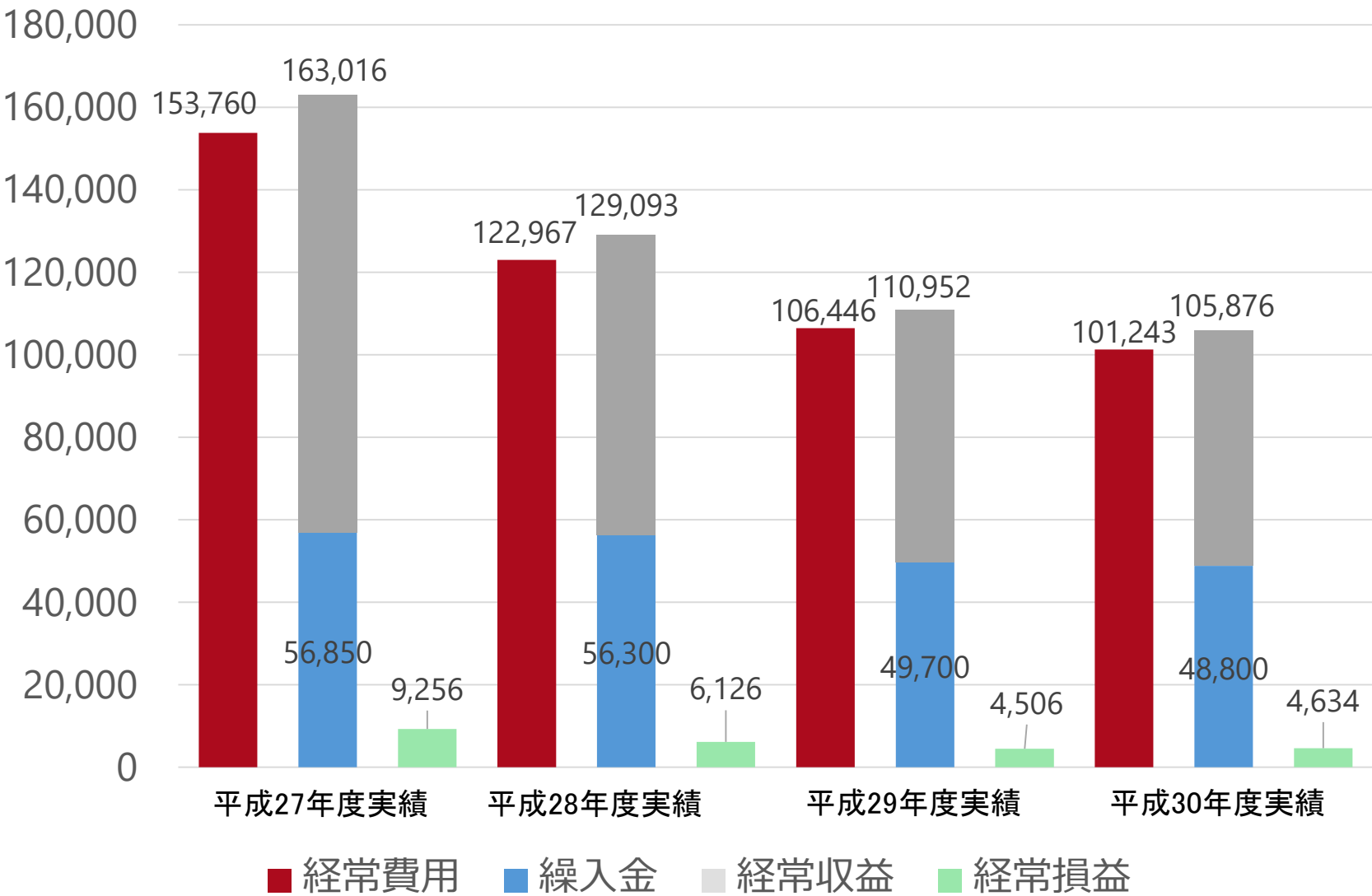
	18年	3月	患者送迎車両（車椅子対応）を購入
		4月	ポリオ予防接種を開始、経鼻胃内視鏡を導入
		5月	レントゲンのCR化を行い、フィルムに代わりモニター診断が可能となる
		12月	裏庭部分に駐車場を拡張
	21年	4月	『城内病院』を廃止し『城内診療所』を設置 （一般病床15床・介護療養病床4床）
平成	22年	4月	『南魚沼市立ゆきぐに大和病院』とともに地方公営企業法の全部適用となる
	23年	4月	ゆきぐに大和病院との病院事業会計から切り離し、特別会を設置。
	26年	9月	医療再編後の城内診療所運営方針について地元説明を実施（4会場）
	26年	11月	院内薬局を廃止し、医薬分業化（入院患者分は院内）
	27年	4月	介護療養病床を廃止し、原則無床診療所となる （届出病床 一般病床5床） ※一般病床5床は緊急用の取扱い <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの廃止（理学療法士の異動） ・胃力メウ検査の廃止 ・医師オンコールの廃止 ・当直廃止 ・患者給食業務委託の廃止
	28年	4月	訪問診療の休止（常勤医師不在） 検査体制の変更（原則 外注化） 臨床検査技師の異動 巡回患者送迎バスを廃止し、予約制の送迎に切り替え
	30年	4月	一般病床5床を廃止し、完全無床診療所となる <ul style="list-style-type: none"> ・県知事への許可申請 ・『城内診療所条例』ほか関係例規の一部改正 土曜日の診療を原則第1・第2・第4とする（第3・第5休診）
	31年	4月	土曜日の診療を第2・第4とする（第1・第3・第5休診）

城内診療所の決算状況（過去4年分）

単位：千円

経常収支と経常損益の推移

城内診療所決算資料
繰入金：3条（収益）



城内診療所決算状況

城内診療所特別会計決算状況													
年度	形態	患者数（人）			歳入歳出					備 考			
		入院	外来	合計	歳入	うち一般会計補助金	歳出	歳入歳出差引額	実質収支額				
23	診療所	5,838	17,727	23,565	451,313	101,401	431,475	19,838	▲ 81,563	歳入歳出差引残額 19,838千円をH24に繰出⇒ 実質繰入額 81,563千円			
24	診療所	5,824	15,109	20,933	446,171	135,529	424,591	21,580	▲ 113,949	歳入歳出差引残額 21,579千円をH25に繰出⇒ 実質繰入額113,950千円			
25	診療所	4,889	12,594	17,483	414,199	129,965	382,459	31,740	▲ 98,225	歳入歳出差引残額 31,740千円をH26に繰出⇒ 実質繰入額 98,225千円			
26	診療所	4,190	11,633	15,823	368,211	129,190	352,428	15,783	▲ 113,407	歳入歳出差引残額 15,783千円をH27に繰出⇒ 実質繰入額113,407千円			
27	診療所	0	10,215	10,215	163,015	56,850	153,760	9,255	▲ 47,595	歳入歳出差引残額 9,255千円をH28に繰出⇒ 実質繰入額 47,595千円			
28	診療所	0	8,396	8,396	129,093	56,300	122,967	6,126	▲ 50,174	歳入歳出差引残額 6,126千円をH29に繰出⇒ 実質繰入額 50,174千円			
29	診療所	0	7,390	7,390	110,952	49,700	106,446	4,506	▲ 45,194	歳入歳出差引残額 4,506千円をH30に繰出⇒ 実質繰入額 45,194千円			
30	診療所	0	6,979	6,979	105,876	48,800	101,243	4,633	▲ 44,167	歳入歳出差引残額 4,633千円をR元に繰出⇒ 実質繰入額 44,167千円			
R元 診療所		0	7,077	7,077	105,808	47,000	93,795	12,013	▲ 34,987	歳入歳出差引残額 12,013千円をR 2 に繰出⇒ 実質繰入額34,987千円			